

今週の News

1. 2021 年度 JSURP 総会の結果報告
2. 2021 年度日本都市計画家賞の募集
3. 2021 総会後のシンポジウムの報告
4. 全まち 2021 の案内

■2021 年度 JSURP 総会の結果報告（事務局）

2021 年度の第 20 回日本都市計画家協会通常総会は、COVID-19 緊急事態宣言下の 2021 年 6 月 19 日（土）13 時～15 時の間、完全オンラインで開催されました。

議決権者 159 名に対し、過半数となる 106 名（書面決議 92 名、委任状提出 14 名）が議決権を行使し、総会は設立しました。

事前表決の結果、以下の全ての議案について可決承認いただきました。

- 第 1 号議案 2020 年度事業報告及び収支決算について
- 第 2 号議案 2021 年度事業計画及び活動予算について

今年度も COVID-19 の影響により、フルオンラインでの総会となり、表決及び質問等を事前に書面（電子メール）で提出願うと言う形式を取りました。電子メールで提出いただいた方は議決権者の 2/3 の 106 名、意見表明は 7 名でした。議案に関する可否に関しては第 1 号議案は全員が承認、第 2 号議案では 105 名が承認、1 名が非承認でした。

■2021 年度日本都市計画家賞の募集/江田

◇家協会賞とは

2021 年度第 14 回日本都市計画家協会賞（家協会賞）の公募を開始しました。

家協会賞は、全国の都市や地域で実践されている様々な分野やテーマの「草の根まちづくり活動」を応援し、優れた理念や活動を全国に発信・波及することを目的に、2003 年にスタートしました。近年は隔年で実施しており、これまでに 112 団体が受賞しています。

◇賞の構成、趣旨

都市や地域の現場に根ざし、優れた理念と協働により、創造的な活動や特色ある活動を実践している団体（任意、法人問わず、大学、自治体も、ただし住民の参加は必須）を表彰します。これが優秀まちづくり賞です。さらに、全国 4 支部の中で支部賞を選定し、この両者の中から日本まちづくり大賞を選定いたします。

◇募集～選考～表彰のスケジュール

今回の応募締め切りは 8 月末、9 月内には当協会の会員が訪問ヒアリングを行い、10 月に第 1 次審査としてプレゼン候補を選考します。選ばれた団体は 12 月 4

日（土）午後にオンラインでプレゼンテーションを行っていただき、各賞を選考いたします。

詳しくは協会HPの募集要項、応募の手続きをご覧ください。会員の自薦・他薦さらに会員外も対象ですので、お声がけをよろしくお願いいたします。会員の訪問ヒアリング、プレゼン視聴参加は後日、ご案内します。

- 応募受付：6 月 7 日（月）～8 月 31 日（火）
- オンラインプレゼンテーション：12 月 4 日（土）午後
- 表彰：日本まちづくり大賞（1 団体）
優秀まちづくり賞（3 団体）
支部賞（4 地区・各 1 団体）

多くのまちづくり団体の応募をお待ちしています。
会員や市民の皆様によるまちづくり団体の推薦も歓迎です。



主催：NPO日本都市計画家協会

第14回日本都市計画家協会賞

■表彰

- ・日本まちづくり大賞
- ・優秀まちづくり賞（3 団体）
- ・支部賞（4 団体）
（北海道・神奈川・静岡・福岡）

応募期間

2021年6月7日（月）から
2021年8月31日（日）まで

プレゼンテーション・選考

2021年12月上旬

■2021 総会後のシンポジウムの報告/高鍋

◇シンポジウムの趣旨

6月19日に『「これからの都市づくりとプランナー～多主体連携による新たな価値創造～」をテーマにオンラインシンポジウムを開催しました。このシンポジウムは今後JSURPが企業やNPOなど多様な主体と連携し、プランナーのスキルを活用していかに社会課題を解決していくのかを考える趣旨で行ったものです。

◇プログラム

第1部：「企業連携まちづくり」

外国人向けシェアハウス事業を広く展開する「ボダレスハウス」の李氏を招き、企業と地域の連携による地域課題の解決のあり方について考えました。

ゲスト：李成一氏（ボダレスハウス株式会社 代表取締役社長）

聞き手：原拓也、平井一步（JSURP）

第2部：「多様性まちづくり」

在留外国人を支援する団体「Minami ダイバーシティアクション」の金氏を招き、今後必要となる外国人支援や社会システムなどについて考えました。

ゲスト：金光敏氏（Minami こども教室実行委員長、NPO法人コリアNGOセンター事務局長）

聞き手：中川智之、山本一馬（JSURP）

第3部：「これからのまちづくりとプランナー」

ファシリティデザインラボの似内氏を招き、これからの都市づくり・まちづくりプランナーの役割や機能、さらに今後のJSURPのあり方について議論しました。

ゲストコメンテーター：似内志朗氏（ファシリティデザインラボ 代表）

登壇者：長谷川隆三（進行）、加藤孝明、山本俊哉、臂徹、園田聡、小林真幸、三谷繭子（JSURP）



◇成果

オンラインでの開催でしたが、事前登録者数約90名、当日参加数約60名の参加をいただきました。

約2時間半の長時間のディスカッションでしたが、1部の李さんの取り組みからは、住宅系の不動産事業と地域のリレーションシップの重要性が示され、2部の金さんの取り組みからは、プランナーとの関係の薄かった困難を抱える在留外国人の生活を支えるための地域単位レベルでのまちづくり発想の仕組みの重要性が、3部のディスカッションでは、最終的に場づくりに落とし込む能力がプランナーの能力活かしつつ、環境とサステナビリティ、経済への効果を見据えた俯瞰的なビジョン提示の必要性などについて議論されました。

■全まち 2021 の案内/渡会

◇全まち 2020-2021 の基本プログラム

例年毎年秋に介されてきた全国まちづくり会議は、2020年秋～2021年秋の1年間を通じた連続企画を、オンラインで実施中です。この連続企画の集大成を2021年秋に大船渡市を会場とするハイブリッド方式で開催の予定です。

◇2020年度の実施内容

2020年度は東日本大震災から10年経った被災地の現状について以下の3地区を会場として分科会セッションを開催しました。

①石巻分科会：12月13日（日）

②大槌分科会：1月31日（日）

③気仙沼分科会：2月27日（日）

◇2021年度の方針/実施内容/計画

2021年度は近年の大きな災害被災地から、被災の状況とその後の復興の状況について以下の4地区を会場として分科会セッションを開催・開催予定です。

①熊本分科会：5/29(土)/熊本市・球磨村より

②厚真分科会：7/24(土)/北海道厚真村より/地震

③真備分科会：8/28(土)/岡山県真備町より/水害

④糸魚川分科会：9月(予定)/糸魚川市より/大火

◇全まち 2020-2021 in 大船渡の開催方針（予定）

全まち 2020-2021 シリーズの集大成となる「全まち 2020-2021 in 大船渡」の方針については、現在全まち部会において企画検討中ですが、概ね以下の方向で開催を予定しています。詳細については今後詰めていく予定です。

①日時：10月16(土)、17(日)を第1候補に調整中

②開催テーマ

「防災、災害とまちづくり」を主題として検討中
2020年以降開催してきた分科会での検討事項をもとにメインテーマ、主要プログラムを設定の予定

③開催場所：大船渡市および周辺都市

メイン会場：大船渡市内で会場を調整中

サブ会場：大船渡市周辺の被災地区など

リモート会場：分科会開催地区など

④開催方式：ハイブリッド方式

なお、新型コロナの状況が改善されるようであれば、現地との調整の上、「被災地のその後を視察するツアー」なども企画予定です。

■今月の予定

①7月5日（月） 全まち部会

②7月13日（火） JSURP 寄付者懇親会

③7月20日（火） 第190回理事会

■認定NPOを支える寄付のお願い

寄付サイトからのネット決済による寄付

寄付は一口5,000円です。

JSURPのHPトップ画面の

「寄付のお申し込みボタン」にアクセスし、手順にそって「ネット決済」を行ってください